



# 再選めざす 日本共産党 そねはじめレポート

2010年 4月27日発行 第14号

そねはじめ事務所  
114-0032  
北区中十条2-11-6  
Tel: 3907-1135  
Fax: 3906-3225

## 「日本のどこにも普天間の受入れ先はない」と米側に伝えよ “基地はいらぬ”沖縄県民大会 9万人が心一つに

25日快晴の下で、米軍普天間基地の県外移転を迫る沖縄県民大会に、徳之島の1・5万人集会に続き、9万人が参加。

混雑で中に入れなかった会場周辺の参加者や連帯集会も含め10万をはるかに超える人々が米軍基地ノーの世論を内外に示しました。

### ●歴史を動かす力になる

党首として唯一人出席の志位委員長は「沖縄の心が一つになった」「必ず歴史を動かし日米両政府を動かす大きな力になる」と訴えました。

翌日のテレビで「もう米軍基地を受け入れるところは日本のどこにも無いことを鳩山首相はアメリカに言うべきだ」とコメンテーターが語っていました。共産党が訴え続けた「無条件撤去しかない」の主張をマスコミも認めざるを得なくなりつつあります。

### ●北区では自衛隊跡地にスポーツ公園



### 志位委員長が米大使と直接会談

#### 米大使は「オープンな意見・情報交換は歓迎」と表明

4月21日、共産党志位委員長は初めてルース駐日米大使を訪ね、普天間基地無条件返還とのわが党見解と根拠を明らかにしました。

ルース大使は政府間合意である現辺野古移転計画が最善としつつ「意見・立場は違っても意見や情報のオープンな交換は歓迎する」と対話の継続を表明しました。

今後も粘り強い交渉が可能となります。

北区では前日の24日に赤羽西の旧自衛隊駐屯地が「スポーツの森公園」としてオープンしました。これで赤羽の自衛隊跡地は全て開放されました。

30年前、連続3日間調査を基に十条赤羽の自衛隊基地は“遊休状態”と白日の下に暴露して解放運動を開始。

### ●市ヶ谷本部移転計画とのたたかい

87年に浮上した自衛隊補給本部の移転再編計画に大反対運動を展開。その結果、北区内の基地の6割を開放さ

せてきた区民運動による長年のたたかいの成果です。私も議員経験で最長の1時間50分、区議会で防衛庁や北本区長(当時)と激しく論戦・追及しました。

今回も、沖縄と心一つに米軍普天間基地撤去を最後まで訴えます。

(写真はスポーツの森公園に立つさがら区議とそねはじめ前都議)